

想いをつなぐ、伝わる情報誌

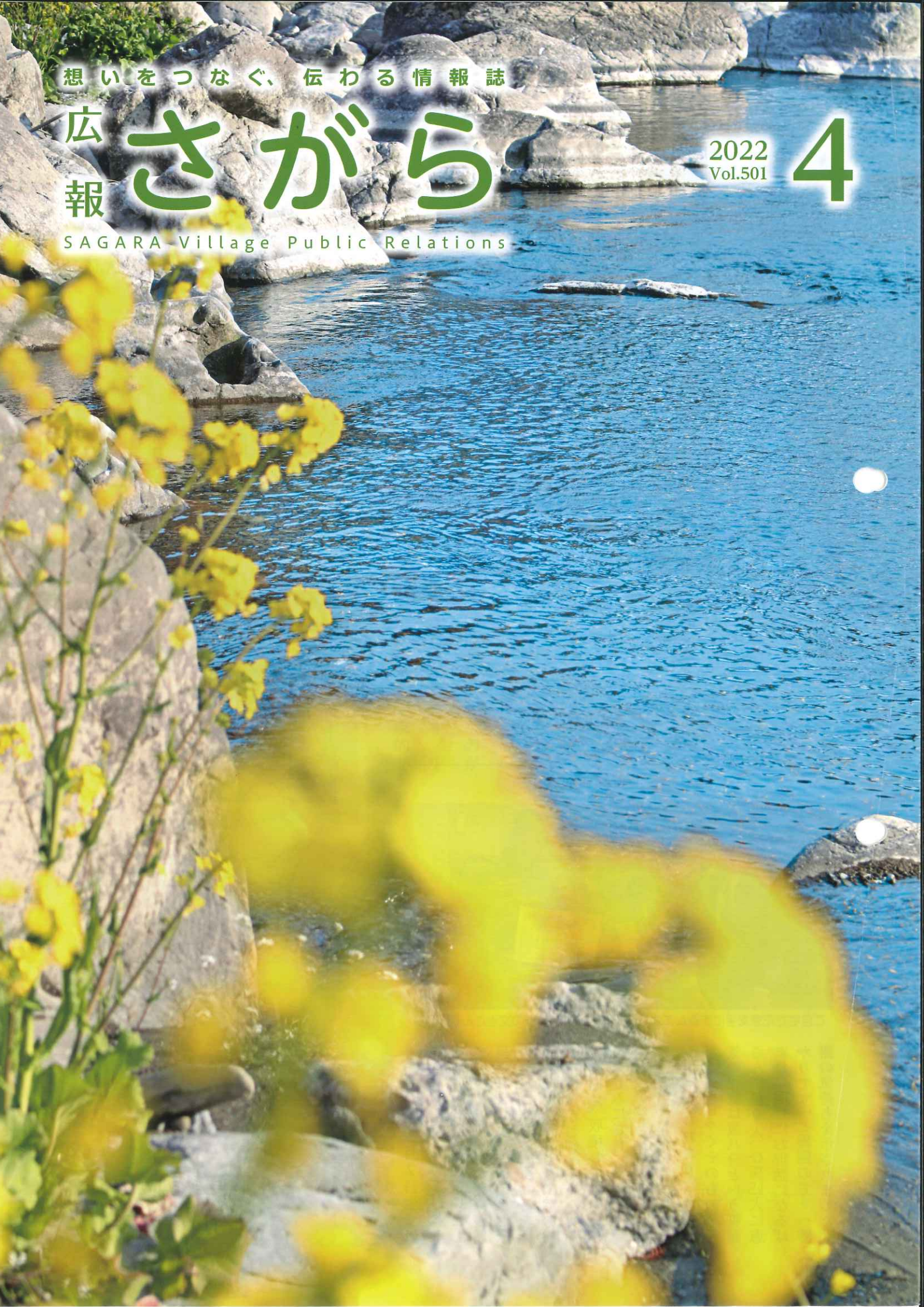
広  
報

# さがら

2022  
Vol.501

4

SAGARA Village Public Relations



豪雨復興支援事業

# 木製品に 復興への思いを込めて



令和2年7月豪雨復興支援として、公益社団法人熊本県緑化推進委員会が、村内3保育園と南北小学校に木製品を贈りました。今回の取り組みは、国土緑化推進機構が復興支援のため募った「緑の募金」使途限定募金を活用したもので、同推進委員会の熊本豪雨復興支援事業の一つ。

1月18日(火)には、晩保保育園にプランター6個とベンチ2個、四浦保育所あざみ園にプランター3個とベンチ1個、北小学校にベンチ3個と積み木2セット、南小学校に積み木3セットを寄贈。

2月21日(月)には、なつめ保育園にキンモクセイ2本、ソメイヨシノ4本、サツキ15本、コニファー2本の計23本の樹木苗木と積み木2セットが贈ら

れました。緒方眞喜代園長が「みんなが楽しく遊んでいた遊具がなくなつて、積み木や絵本がどろどろでなくなり、避難生活をしました。今日は熊本県緑化推進委員会からいただいた苗木を新しい園舎に植えようと思います。みなさんの成長と木の成長を一緒に願います」と話されました。年長13人が、新しい園舎の敷地内で2か所に分かれて植栽を行いました。

- ①贈られた積み木セット
- ②同推進委員会の川上信久事務局長の話しを聞く児童たち(晩保育園)
- ③みんなで一緒にポーズ!(四浦保育所あざみ園)
- ④代表児童による受け取り(北小)
- ⑤校舎前での一枚(南小)
- ⑥積み木セットを受け取る児童たち(なつめ保育園)
- ⑦スコップで土をかけ植栽を行う児童たち(なつめ保育園)

